

ケニア滞在記 ⑤ 交通事情？

藤 井 佐 富



【シティーバスとマタツのバス】



【すし詰めでかつ飛ばすマタツ】

ナイロビ市の主要交通機関はシティーバスとマタツです。シティーバスは約50人乗りで全員着席。料金は5キロ位の距離なら30円。12キロ位でも50円です。露天商（サトウキビ）が乗り込んで車内販売をおこない、身綺麗な青年が突然立ち上がり聖書の説教を始め、御布施を集めて運賃も払わず堂々と降りて行きます。自由ですね！

ハイエース等に4列のシートを溶接して15人～20人の客を押し込み、大音量でレゲイ等の音楽を流してかつ飛ばすのがマタツです。運賃はさらに安く庶民の足です。路線名を書いた小さな段ボールを掲げて執拗に客を呼び込むため、出発までの時間は長いが走りだせば早い。交通渋滞が起これば、反対車線に飛び出し逆走！次は左の歩道へ乗り上げ、クラクションで歩行者を威嚇して突っ走る。

（イギリスの植民地だったので、日本と同じ左側通行。ガードレールは無い。）運行コースも変更するなど無茶苦茶です。スリも多く（2回遭遇し、初回は財布と携帯電話を盗まれた）外務省は「絶対乗るな」という乗り物です。マタツが歩道に乗り上げて突っ込んで来てもすぐ逃げられるよう、歩道を歩く時は必ず対向の右の歩道を歩きます。

三輪車の「ツクツク」（東南アジアからインドでポピュラーな小型自動車）はケニアでも走っています。モンバサを中心に海岸地域や田舎では主力の交通機関です。



【三輪車のツクツ】

近年人気なのが「ピキピキ」というバイクタクシーです。中国製の100cc単気筒のエンジンで、後ろに2人/3人も乗せて走ります。料金はマタツより割高かですが、身軽に歩道を乗り上げ、反対車線もスムーズに逆走して一番早く目的地に着けます。田舎では、狭い農道も走れます。



【バイクタクシー（ピキピキ）】

バンプは強制的な速度制御装置です。道路を横断する突起物の帯でスピードを10～20キロ/時に落さないとぶっ飛ぶので慣れが必要です。世界では普及していて日本も導入の検討がされています。交差点はラウンドアバウト（環状交差点）が主流で、ナイロビ市内に信号機は数カ所しかありません。要領と度胸がないと何時までも回ってしまいます。交通渋滞が起きると完全にロックするため、渋滞をさらに悪化させています。

事故も多く自動車台数と交通関連死亡者の比率は日本の5倍以上と聞きました。日本の常識でいると、「ボーっと生きてんじゃねーよ！」とチコちゃんに叱られますよ！

第二回 中国で進行する砂漠化と植林

鈴木 元

北京から飛行機に乗って北へモンゴルの方へ 70 キロほど、あるいは西北へ甘粛省の方へ 200 キロばかり行くと眼下に異常な景色が広がってくる。道路、農家、畑、ため池が砂に覆われて無人化している。これらの地域は元々半乾燥地域の草原であつたところで、モンゴル族やチベット族が遊牧しながら暮らしていた。



中国政府がこれらの地域でのモンゴル族やチベット族の人口比率を下げることに、貧しい漢族の農民に土地を与えることもあって漢族の農民の入植を進めてきた。

しかし農業に必要な水が少ないので、入植した農民たちは、草原を掘り返して畑を作るとともに深い井戸を掘り給水していた。最初こそうまくいっていたが、やがて塩分を含んだ水となり塩害で農業が出来なくなって放棄することになっていった。もともと表土は 10-20 センチ程度で、その下



は砂地であった。遊牧民は羊などが草を食べつくさないうちに移動することによって、自然のバランスが保たれていた。しかし草を除いて畑にして水をやっていたものをやらなくなれば、たちまちのうちに砂地むき出しの土地となり砂漠化したのである。そうなれば遊牧民が戻って遊牧することもできない。こうして北京の北側 70 キロぐらいまで砂漠化が接近し、中国政府は危機感をいだき植林をすすめ、なんとか北京のローラン化を阻止しようとしている。

現在、中国は世界で最大規模の植林を進めている。つい 10 年ぐらい前までは大学の教員を含めて全国民に 2 日間の植林を義務付けていた。甘粛省の蘭州大学の知り合いの女性教員が「鈴木さん、私たちのようにパソコンや鉛筆で字を書く程度にしか身体を動かさない大学教員に、植林をさせてもうまくいく訳がないでしょう」と言っておられた。今では農民の二日分の給与に相当するお金を出せば植林作業は免除され、そのお金が農民に渡され植林を進めている。ところで日本から学校の先生などが夏休みを利用して「ボランティアで、内モンゴルの植林に行ってきた」という人たちがいる。植林は誰にでもできる、問題は植えた苗木にどうして給水するかである。そうしなければ乾燥地域での苗木はすべて枯れてしまう。北京郊外に多目的ダムが 5 つあるが北京の水不足を解消するために「首都の水を守れ」のスローガンの下、メロン農家などへの水の供給を大幅に制限している。しかしそれを知ってか知らないかはわからないが、若者たちは朝シャンをして通勤通学へ向かっている。中国の深刻な問題の一つが砂漠化と水不足である。

次回にはそれとの関係でモンゴルのことを紹介する。